

コロナ禍を生き抜く一手

県内企業・団体の 取り組み紹介



災害から身を守るには、的確な情報と知識に基づいた行動が何よりも大切です。岐阜新聞社では、県民の皆さん一人一人が災害について学び、共に考え、いざという時に手がかりにできるよう、2014年から「備えて命を守るプロジェクト」を展開しています。

令和の時代を迎えて2年目の今、私たちは「新型コロナウイルス」の脅威にさらされています。地震や台風のように突発的に起こるものではなく、静かに進行していく様子は、今までに経験したことのない“新しい災害”とも

言えるでしょう。

今年14日に岐阜県を含む39県の緊急事態宣言は解除されましたが、感染しないように、また万が一感染してしまった場合に拡大させないよう、細心の注意を払った生活を続けなければならないことには変わりありません。今回は、県歯科医師会と、生産工程の自動化(FA)コンサルタントのPLANSEEDの取り組みの紹介を通し、県民一人一人が今できることを考えていきましょう。

口腔ケアの大切さ訴え

県歯科医師会 ウイルスとの関わり言及

新型コロナウイルスは、感染者の唾液に含まれるウイルスが体内に入ってしまったことで感染してしまつた

め、近い距離で人と会話をしないことが、有効な感染予防策とされています。

ただ、有効な感染予防策はそれだけではありません。口腔ケアも欠かせない対策の一つ。今回は、県歯科医師会の阿部義和会長



ウイルスと口内環境の関係について話す阿部義和会長
岐阜市加納城南通 県歯科医師会館

に、新型コロナウイルス予防と口腔ケアの関係についてお話をうかがいました。

◆ ◆ ◆

「口内環境とウイルスの関係は、新型コロナウイルスを始

す。口内が細菌でいっぱい状態になると、細菌の一種である歯周病菌などは、ウイルスを拡散、繁殖させる作用を持つ力があるため、ウイルス性感染症が発症しやすくなってしまいます。

ウイルス性感染症の一つ、インフルエンザで言いますと、歯科衛生士が定期的に口腔ケアを行っている施設では、行っていない施設と比べてインフルエンザの発症率が格段に少なかったというデータがあります。また、歯周病のある人は、インフルエンザウイルスが増殖しやすいことも数々の研究で明らかになっています。

新型コロナウイルスのデーターはまだ限られています。同じウイルス性の感染症として、口内をきれいにしておくことが発症および重症化予防につながるというところは、言えるのではと

思います。



県歯科医師会では歯科医院に対し、治療時のフェースシールドやマスク等の着用や、待合室の3密の防止などの感染防止対策を徹底するよう呼び掛けている

また、口内を清潔にすることで、飛沫内に含まれるウイルス量を減らすことにつながりますので、感染の拡大予防に有効です。このように理由から、手洗いとうがいに加え、小まめな歯磨きも、日々の習慣に取り入れていただきたいですね。

「口内環境をきれいにしておくために大切なこと」

歯磨きが大切なのは言うまでもありません。ただ、どんなに丁寧に磨いても、残ってしまう汚れはあります。歯周病を防ぐために年に数回、かかりつけ歯科医院でチェックを受けていただきたいと思います。

歯周病は、全身の健康に悪影響を及ぼすことがさまざまに研究でわかってきました。認知症、誤嚥性肺炎、糖尿病、心筋梗塞、骨粗しょう症などは、歯周病菌が深く関わっていると考えられています。

県歯科医師会では、「県民の健康を守る」ことを使命に掲げており、「お口だけ」でなく体の健康を守る」としています。口の環境は、全身の健康につながるという強い思いから、このような表現にしています。

「コロナ禍における歯科医院の受診は、緊急事態宣言の発出中は、緊急性が少ない治療等に関しては、延期の検討を広くお願いしました。宣言が解除された今は、次のステージにきています。

悪影響を及ぼすことがさまざまに研究でわかってきました。認知症、誤嚥性肺炎、糖尿病、心筋梗塞、骨粗しょう症などは、歯周病菌が深く関わっていると考えられています。

県歯科医師会では、「県民の健康を守る」ことを使命に掲げており、「お口だけ」でなく体の健康を守る」としています。口の環境は、全身の健康につながるという強い思いから、このような表現にしています。

「コロナ禍における歯科医院の受診は、緊急性が少ない治療等に関しては、延期の検討を広くお願いしました。宣言が解除された今は、次のステージにきています。

悪影響を及ぼすことがさまざまに研究でわかってきました。認知症、誤嚥性肺炎、糖尿病、心筋梗塞、骨粗しょう症などは、歯周病菌が深く関わっていると考えられています。

県歯科医師会では、「県民の健康を守る」ことを使命に掲げており、「お口だけ」でなく体の健康を守る」としています。口の環境は、全身の健康につながるという強い思いから、このような表現にしています。

「コロナ禍における歯科医院の受診は、緊急性が少ない治療等に関しては、延期の検討を広くお願いしました。宣言が解除された今は、次のステージにきています。

悪影響を及ぼすことがさまざまに研究でわかってきました。認知症、誤嚥性肺炎、糖尿病、心筋梗塞、骨粗しょう症などは、歯周病菌が深く関わっていると考えられています。

◆ ◆ ◆
まずは、プランシードについて教えてください。
もともとは、大手メーカー向けに製造ラインの機械化・自動化を提案、設計する会社に勤めていました。中小企業から相談を受けることもあったのですが、以前の会社は大手のみを相手にしていたため、「日本の企業の大半を占めている中小企業の生産性向上の力になりたい」との思い

◆ ◆ ◆
新型ウイルスの流行で、製造現場では、経済の停滞に伴う需要の減少や従業員の安全確保のため、一時的に工場の稼働を停止したり生産を縮小したりするところが出てきました。緊急事態宣言は岐阜県を含む39県で解除されましたが、世の中が一変してしまつた今、規模に関わらず多くの企業が事業継続に向けて新たな戦略を練らなければならぬ時期が来ているのではないのでしょうか。今回は、新型ウイルス禍において中小企業が取るべき動きについて生産工程の自動化(FA)コンサルタントのPLANSEED(プランシード、岐阜市大福町)の細野晃社長にお話をうかがいました。

中小企業に“半、自動化提案

コンサルの
プランシード

医療関連には無料で工程设计



中小企業における半自動化の重要性について話す細野晃社長＝岐阜市大福町、プランシード

から、2008年にプランシードを設立しました。ただ中小企業では、やみくもに機械化を進めてしまうと、これまで業務を担ってきた従業員のモチベーションの低下による離職につながり、結局、機械を動かす人すらいなくなってしまう恐れがあります。また、自動化に置きすぎると、事業規模に見合わない過剰な設備を導入することにもなりかねません。そのため弊社は、自動化に取り組む前には「人づくり」すなわち働く環境を整備からスタートし、単純作業や重労働はロボットや機械を使って「自動化」、従業員

◆ ◆ ◆
また、社会貢献の一環として、マスクや防護服、消毒液など医療関連商品の生産現場に対して、設計費無料で生産工程の自動化を支援する「ハーフオートメーション緊急もぐり支援」を始めました。ロボットなどを導入することになった場合の費用は必要となりますので、全てを弊社が負担できるわけではありませんが、設計費というノウハウの部分で身を切ることで、最前線で働く医療従事者を支える企業の力になっていきます。

◆ ◆ ◆
また、社会貢献の一環として、マスクや防護服、消毒液など医療関連商品の生産現場に対して、設計費無料で生産工程の自動化を支援する「ハーフオートメーション緊急もぐり支援」を始めました。ロボットなどを導入することになった場合の費用は必要となりますので、全てを弊社が負担できるわけではありませんが、設計費というノウハウの部分で身を切ることで、最前線で働く医療従事者を支える企業の力になっていきます。



半自動化に向けた設備を作り上げる社員ら＝羽島郡岐南町 伏屋プランシード岐南工場

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。

◆ ◆ ◆
もともと歯科医院は、感染症拡大防止のため、以前から歯科医師は手袋や眼鏡、マスクを着用しています。吸引装置の適切な使用によるエアロゾル感染対策などに力を入れてきました。新型ウイルス禍においては、フェースシールドもしくは眼鏡、手袋、マスクの着用の徹底、予約時間を調整することで待合室での「3密」の防止、こまめな換気などを行っています。また、受診される方には検温をお願いしています。